

宝塚栄光教会のクリスマス

クリスマスの心を知って、あなたも神様の愛にふれてください。

クリスマス礼拝

世の中がどんなに移り変わっても、決して変わらない神様の愛は、イエス・キリストをこの世界に贈って下さいました。礼拝にお越しになれない方も、ライブ配信でご覧いただけます。

12/19 (日)

①9:30～10:30am

②11:00～12:00am



チェロコンサート (無観客ライブ配信)

今年もクリスマスイブに、チェロの音色が宝塚の町に流れます。(当日は会場に入れません。)

ライブ配信は、教会のホームページからご視聴ください。

12/24 (金) 6:30～8:30pm



教会の春・夏・秋・冬 アドベント～クリスマス

アドベントカレンダーというものをご存知でしょうか。クリスマスまで一日一日切り込まれた「窓」を開けていき、クリスマスを待つためのカレンダーです。19世紀にドイツで始まった習慣だと言われています。

アドベントとは、「到来」を意味するラテン語が由来の言葉で、日本語では「待降節」とも訳されます。その名の通り、クリスマスを待ち望む期間のことです。11月30日に最も近い日曜日から、クリスマスイブまでの約4週間がアドベントとなります。元々は、クリスマスに洗礼を受ける人たちが、断食と悔い改めをもって待ち望む習慣が、時とともにプロテスタントへも広がっていったと言われています。

アドベントの間の礼拝では、ろうそくが4本立てられます。アドベント一週目の礼拝では、その内の1本に火が灯され、週を追うごとに火の灯されるろうそくの数が増えていきます。そして、4本全ての

ろうそくに火が灯され、クリスマスになります。

また、アドベントの礼拝では、聖書の場面から、クリスマスのメッセージが語られます。神のひとり子イエス・キリストは、私たちを罪と滅びから救うために、人となってこの地上に生まれてくださいました。クリスマスは、聖書を通してそれを再確認し、喜びと感謝をもってキリストを信じる信仰を励ましていただくときです。

教会の一年は、クリスマスから始まると言われています。それほどクリスマスは、キリスト教にとって大切なのです。街はにぎやかなクリスマスムードですが、今年のクリスマスは、そこから一旦目を離して、浮かれそうになる心を静めてみませんか。そうすれば、いつもとは違う恵まれたクリスマスを迎えられるかもしれませんね。



Gloryカレンダー発売

Gloryのエッセーと写真とともに、2022年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますように。一部1,000円です。購入をご希望の方はご連絡ください。



元旦礼拝

2022年1月1日(土) 11:00～12:00

新年を神様の前から始めることは、大きな祝福になります。ご家族おそろいで、ぜひご出席ください。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル (聖書のお話)

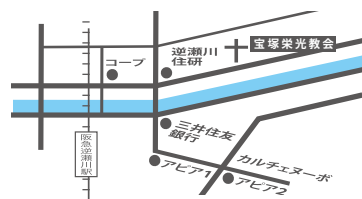
0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00



教会HP



礼拝動画



へりくだられた神の子

子どもの頃は、クリスマスと言えば、サンタクロースからプレゼントをもらうのが楽しみでした。しかし、本当のクリスマス・プレゼントは、神様が私たちにお送りくださったイエス・キリストだということを、ずいぶん後になって知りました。

キリストは、罪のない神の子でした。神様と同じ栄光と権威を持っておられたのです。ところが、キリストは、それらを一切かなぐり捨てて、この世に来られました。むさ苦しい家畜小屋で産声を上げられ、粗末な飼料おけに寝かされました。神の子がそんなお姿でお生まれになると、誰が予想できたでしょう。キリストは、まさに貧しくなって、この世に來られたのです。

聖書にこう書いてあります。「キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。」(ピリピ人への手紙2章6～8節)

これは、キリストがいかにへりくだったお方だったかを表す言葉です。神であられたお方が、私たちと何ら変わらない人間となって、この世にお生まれになったのです。そして、貧しい者と共に歩まれ、友なき者の友となられ、ついに十字架にかかけられました。十字架は、最も凶悪な犯罪者がつけられるはずのものでしたが、罪なき神の子がその十字架についてくださいました。

それは、私たちが罪と滅びから救われるためでした。キリストは、罪を持ったままで滅びゆく私の身代わりに十字架で死ぬために、この世に生まれてくださったのです。これがクリスマスの意味なのです。

私たちは、傲慢になりやすいものです。ほめられたら鼻を高くし、認められないと思ったら、はらわたを煮え繰り返すような者です。そんな私たちが、心低い者に造り変えられるために、キリストは人となってこの世に來られたのです。

今こそ、クリスマスの本当の意味を知って、心から救い主のご降誕を共に祝いましょう。



「雪の日 一語りかけてくるものー」

一面 真っ白の朝だった
多くの事に 気を取られていた日々
ずっしりと 重い憂いに 塞がれていた
大切に生きていこうと 誓ったこの年
それが もう終わろうとしていた
窓の外の 12月のある日

急いで身支度を整え 戸外へと出ていく

何やら 不思議なものが 目に飛び込んできた
それは 枯れ草の上に 積もった雪だったのだが
朝日に照らされて いくつも並んでいる
それらが こちらを見ているように思った
何の変哲もない 風景なのに
私に何かを 語りかけているようだった

ほどなく 今年も終了するだろう
だが 委ねていこう
歩みはゆっくりでも 確実な歩みであればいい
歩きながら 受け取っていく
心の中に 暖かな励ましをもらって 帰途についた

ことばは 人となって 私たちの間に住まわれた
私たちは この方の栄光を見た
父のみもとから来られた ひとり子としての栄光である
この方は 恵みとまことに満ちておられた

ヨハネ1章(聖書)